



ULM272A

BARONESS AUTONOMOUS MOWER

パロネス無人芝刈機

機種名	ULM272A		
名称	無人乗用5連リールモア		
モアユニット仕様	22インチ		
寸法	全長	作業時	316cm
		移動時	293cm
	全幅	ルーフ	228cm
		ステアリング	233cm
質量	機械(燃料タンク空)	1,850kg	
	LiDAR	5kg	
最小回転半径	349cm		
エンジン	型式	Kubota V2403-CR-E4B	
	種類	立形水冷4サイクルディーゼルエンジン	
	総排気量	2,434cm ³ (2.434L)	
	最大出力	—	
燃料タンク容量	軽油47.0dm ³ (47.0L)		
燃料消費率	232g/kW-h (171g/P5-h) (定格出力時)		
エンジンオイル容量	9.5dm ³ (9.5L)		
冷却水容量	12.0dm ³ (12.5L)		
油圧タンク容量	43.0dm ³ (43.0L)		
作業幅(刈幅)	254cm		
作業範囲(刈高)	8.0-45.0mm (*1)		
リール刃数	5枚・9枚		
駆動方式	走行	HST(無段変速)方式(2駆・4駆切り替え)	
	作業部	油圧方式	
速さ(HST)	有人運転	前進	2WD: 0-15.0km/h 4WD: 0-10.0km/h
		後進	0-6.0km/h
	無人運転	前進	4WD: 0-8.0km/h
		後進	0-3.0km/h
能率	有人運転	20,320m ² /h (10.0km/h × 刈幅 × 0.8)	
	無人運転	16,256m ² /h (8.0km/h × 刈幅 × 0.8)	
使用最大傾斜角度	15度		
タイヤサイズ	前輪	26.5 × 14.00 - 12	
	後輪	20 × 12.00 - 10	
タイヤ空気圧	前輪	130kPa (1.3kgf/cm ²)	
	後輪	140kPa (1.4kgf/cm ²)	
バッテリー	150F51		

出荷時のエンジン最高回転速度は、2,600 rpm (*1)刈高10mm以下に設定する場合は、厚さ5mm以下のベッドナイフが必要

安全に関するご注意
●ご使用の際は、必ず取扱説明書をお読みいただき、内容を十分ご理解の上、正しくご使用ください。

保証書に関するお願い
●製品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受けいただき、大切に保管してください。なお、ご購入店名、ご購入日付の記載のないものは無効となります。
●製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は製品本体に製造番号が表示されているか、また、保証書記載の製造番号と一致しているかご確認ください。

安心点検
●いつでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただくために製品の点検を！
●機械は長期使用により摩耗・劣化しやすい箇所があります。製品を安心してご使用いただくために、ご購入店または、取扱店へ定期的な点検をおし出ください。

株式会社 共栄社
<https://www.baroness.co.jp/>

本社(営業部)/〒442-8530 愛知県豊川市美幸町1丁目26番地
TEL:0533-84-1221 FAX:0533-84-1220

関東営業所/〒121-0836 東京都足立区入谷5-7-8
TEL:03-6807-1328 FAX:03-6807-1329

関西営業所/〒651-1512 兵庫県神戸市北区長尾町上津2052-4
TEL:078-983-5955 FAX:078-986-0710

九州営業所/〒841-0201 佐賀県三養基郡基山町大字小倉字氏林1030-1
TEL:0942-92-7061 FAX:0942-92-7063

沖縄営業所/〒901-0222 沖縄県豊見城市渡橋名96-2
TEL:098-996-1388 FAX:098-996-1389



お問い合わせ・お買い求めは親切とサービスをお届けする当店へ



無人機の動画はこちら▶



the STANDARD

無人芝刈機での夜間のフェアウェイ刈りは、
すでにスタンダードの時代です。

夜間、霧、西日、真夏日...
悪天候でも無人芝刈機なら人に代わって作業が可能に

フェアウェイ刈りはコース管理の花形とされますが、過酷な肉体労働です。

従来、フェアウェイ刈りには熟練の技が必要とされてきました。

バロネス無人芝刈機はボタンを押すだけ。

一度、熟練スタッフの技術をティーチさせれば、経験値を問わず教育を受けたスタッフであれば
誰でも簡単に高い技術を忠実に再現できるようになりました。

さらに人では運転できない夜間や霧で見通しが悪い時でも、

バロネス無人芝刈機なら作業が可能です。

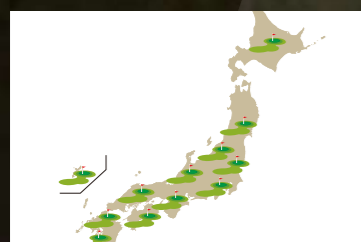
人の代わりに無人機が芝を刈る。そんなコース管理がもうスタンダードになっています。

導入実績 ※2026年4月末調査



販売台数 (累計)

120台以上



ゴルフ場導入数 (累計)

全国 100コース以上



省力管理

×

人手不足解消

||

無人機が解決します

ボタンを押すだけで誰でも簡単にフェアウェイ刈りが可能に！

LM272A

BARONESS AUTONOMOUS MOWER

バロネス無人芝刈機

the STANDARD

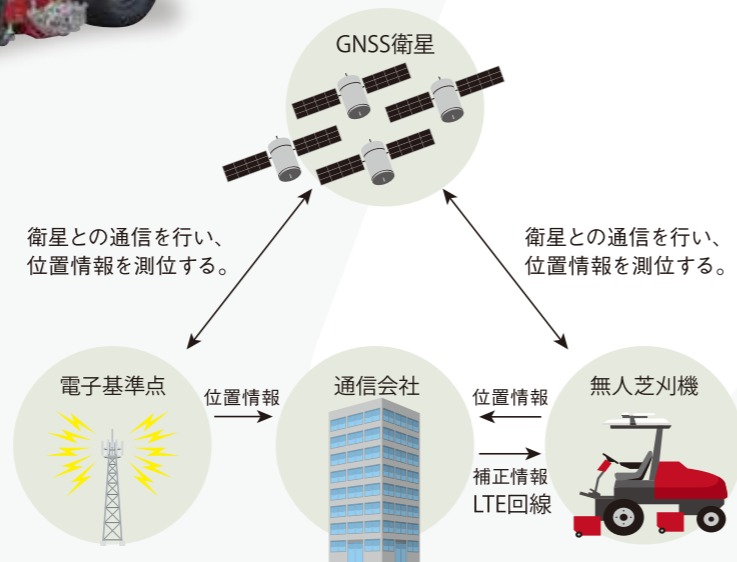
高精度という名の バロネス無人芝刈機が誕生



高精度測位システムの導入

本製品はGNSS*を利用した無人での芝刈り作業を目的とした無人5連リールモアです。RTK(動的干渉方式)システムにより精度の高い位置測定と正確な運転再現技術による芝刈り作業を行います。LTE(携帯端末)回線を用いることで大容量のデータを高速で受信できるため、コース内でも安定した走行が可能です。動力にはディーゼルエンジンを採用。走行、作業機部は油圧システムにより駆動します。

*GNSSとは全球衛星測位システムのことです。GPSやGLONASSなどが含まれます。



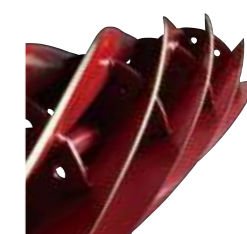
刈り上がりのクオリティを維持する フェアウェイ5連リールモア

バロネスの無人5連リールモアはゴルフコースの起伏や刈り込み時の負荷に影響なく、刈り上がりのクオリティの維持ができるフェアウェイモアです。



きれいな芝を創る バロネスリールカッター

バロネスリールモアは独自の特殊鋼を使用し、硬さと粘りのある日本刀をモデルにつくられたリールカッターを装備しています。切れ味の良さや高い耐久性を兼ね備えているため、9ホール連続して同じクオリティの刈り上がりを実現できます。



ティーチだからこそできる 熟練の技術を再現する「匠刈り」

乗って記録するだけ。
簡単に熟練の技を記録し、再現できます。

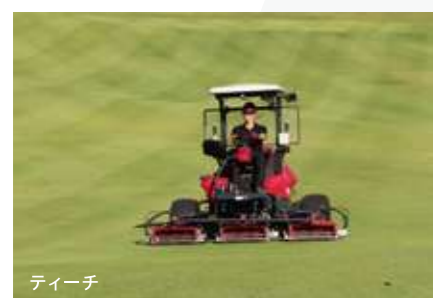


ボタンひとつでプレイバック

専門知識を持ったエンジニアは必要ありません

パロネス無人芝刈機はティーチ・MAP方式を採用しています。ティーチ・MAP方式とは、通常作業と同様に人が機械に乗って作業を記録する方式なので、難しい作業はなく、また専門知識を持ったエンジニアも必要ありません。熟練スタッフの技術をティーチすることで、誰でも高い技術を忠実に再現できます。一度ティーチしてしまえば、手間のかかるダイヤモンドカットも簡単に行えます。

ダイヤモンドカットも簡単に実現



ティーチ

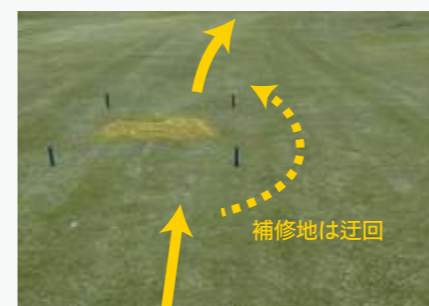


プレイバック



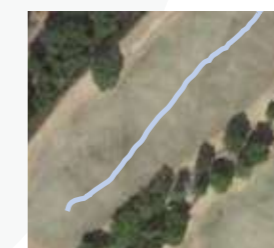
ティーチ・MAP方式のメリット

■ 緊急時のルート変更が可能
補修地ができてしまった場合も機械に乗って記録するだけなので簡単に変更が可能です。



■ パソコン上のMAPでデータの修正・結合が可能
MAPでの修正も可能なので、ティーチした後にデータを補正したり修正することも可能です。また、各ホールのティーチデータを結合することで数ホールを連続して無人作業することもできます。

蛇行データをまっすぐに補正。



各ホールのデータを結合して9ホール連続して刈れます。*



出典：国土地理院

※ゴルフ場の面積や環境、刈り方等の条件により異なります。

ボタンひとつで HALF 終了

無人芝刈機なら誰でもボタンを押すだけで9ホール連続して芝を刈ることができます。*

しかも人の技術に依存せず、クラブハウスのスタッフでも誰でも簡単に熟練スタッフの刈り込みが再現できます。

夜間に刈り込みを無人機が実施し、朝になれば管理棟に戻ってきている。

そんな夢のような話がすでに実現となっています。

※ゴルフ場の面積や環境、刈り方等の条件により異なります。

直感的な操作パネルで簡単オペレーション



■ 鮮明なフルカラー7インチ液晶パネル

1	メニュー/戻るボタン	5	スロットルダウンボタン
2	ライトスイッチボタン	6	リール回転ボタン
3	2WD・4WDボタン	7	移動作業切り替えボタン
4	スロットルアップボタン	8	パーキングブレーキボタン

目で見てわかりやすい7インチのカラー液晶パネルを装備。イラストと文字で表示され、操作項目が一目でわかるタッチパネルタイプです。無人での走行・刈り込み、機械のセッティング、バックラッピングまで操作可能。プレイバック時には、スタート位置までの距離、車体の向きまで確認できます。



■ メイン画面
速度、エンジン回転数、燃料、水温等がメーター表示で分かりやすくなっています。



■ ティーチ/プレイバック画面
ティーチボタンを押すとティーチが始まります。プレイバックリストを選択し、プレイバックボタンを押すとプレイバックできます。

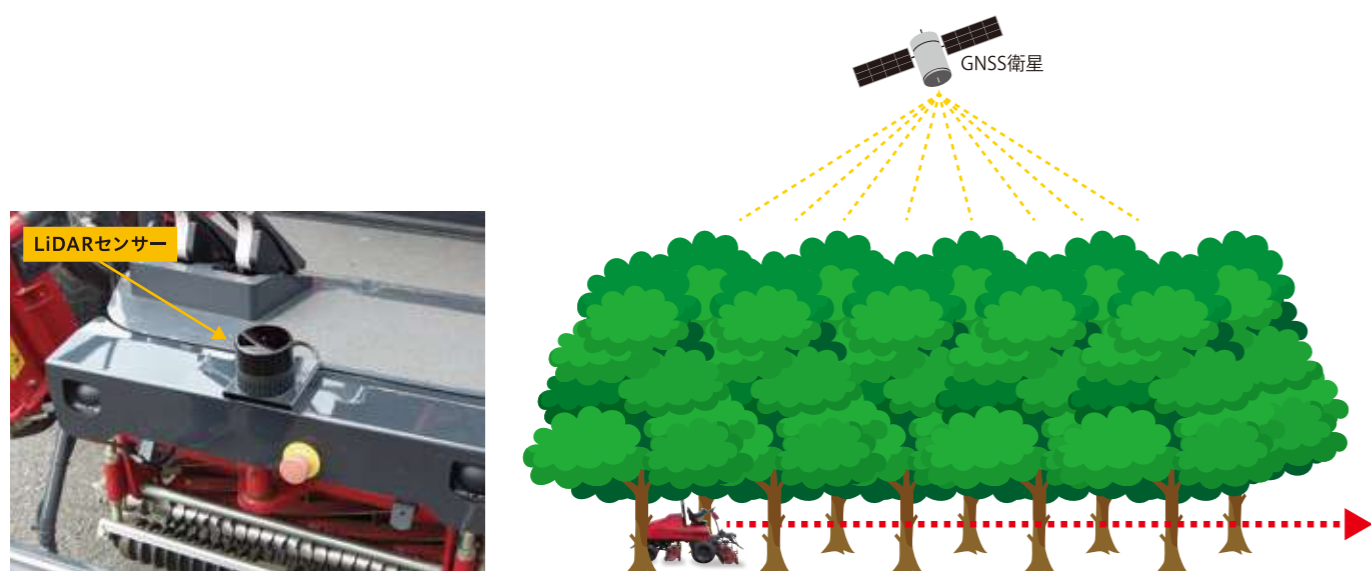


■ クリップコントロール画面
クリップコントロールもタッチパネルで簡単に操作設定できます。

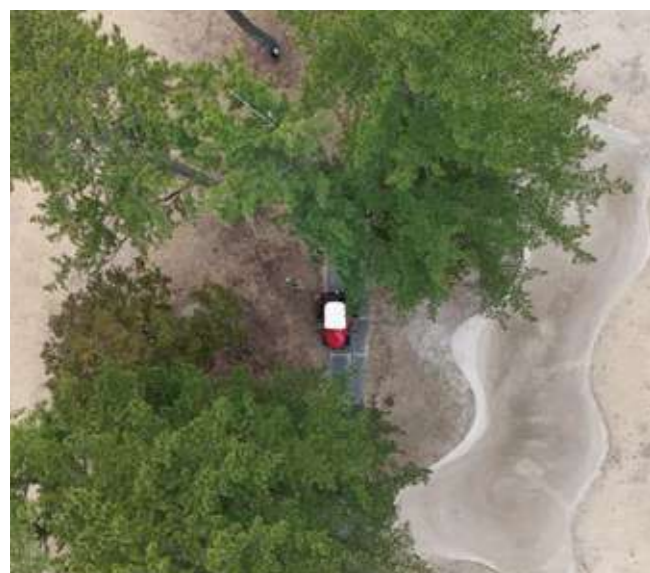
LiDARセンサー装着により、GPSが届きにくいところでの無人作業が可能

※オプション

レーザー光を使って周囲の障害物との距離や形を把握するLiDAR（ライダー）を車体に装着することで、衛星からの電波をメインに位置情報を測定する方式では苦手であった木立の下などでの位置情報の取得が可能になりました。そのため木立の下などGNSSが届きにくい場所においても無人機を稼働させることが可能になりました。



LiDARは長い航続可能距離を備え、GNSSが届きにくい場所での稼働が可能。



GNSS電波が届きにくい木立の下での作業も実現。



木立の下のコース間の移動も可能。
※ 安全距離が確保できないところは不可。

センサーと目視で実現する安全機能

無人芝刈機は、安全性にも十分に考慮して設計されています。

レーダーセンサーによる前後方と右側の感知、バンパーセンサーでの接触感知、車両本体の状態を目視で確認できるシグナルライト、本体とテレコンに非常停止ボタンを備えています。万が一の場合でも強制的に車両本体を停止することができ、安心して無人作業を行うことができます。

■ 非常停止ボタン

車両本体前後左右にある4か所の非常停止ボタンと、遠隔操作で非常停止させることのできるテレコンシステムを標準装備し、万が一の場合、強制的に車両本体を停止させることができます。



■ テレコン



テレコンでは遠隔操作による非常停止・ブレイバックの一時停止/再開が可能です。

■ バンパーセンサー

車両本体の前後にバンパーのように接触停止安全バーが装備されています。接触停止安全バーと障害物等が接触した場合は、すぐにエンジンが停止します。



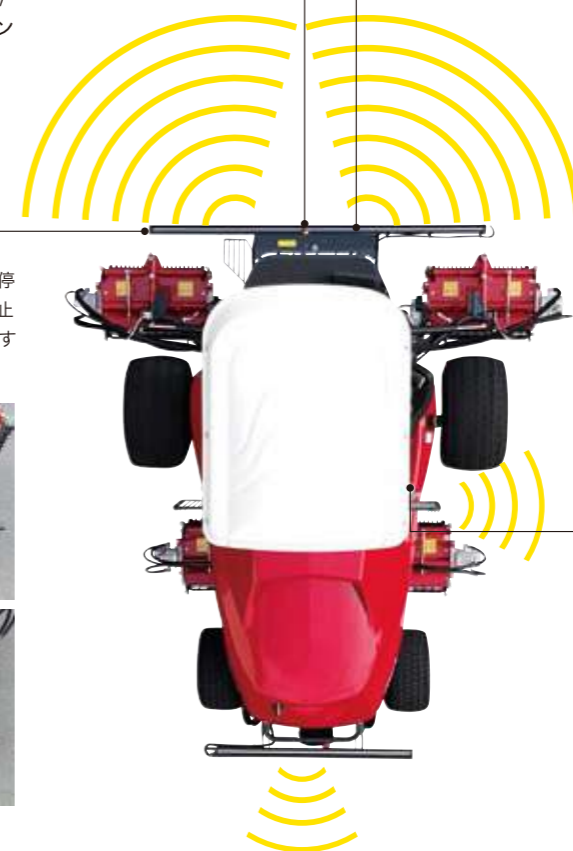
■ レーダーセンサー

レーダーセンサーを車両本体前方に2個、後方に1個、右側面に1個の計4個装備しています。車両本体の前後方に障害物を検知すると減速します。更に障害物との距離が短くなると、車両本体はその場で停止します。感知した物体が移動し、いなくなると停止した位置から少しバックし、刈り込み作業を再開します。



■ シグナルライト

シグナルライトは4色の点灯色と点灯状態（点灯、消灯、点滅）で、車両本体の状態を示します。



導入事例

導入先 1 | 鹿沼カントリー倶楽部

お客様の声1 | 代表取締役社長 福島範治様

省力化×クオリティ — 無人芝刈機は“投資”という判断



無人機の導入の決め手になったのは、効率化だけではなくクオリティでした。DXというと省力化や効率化に目が向きがちですが、一番大事なのは「顧客にどう影響を与えるか」、つまり、「DXが長期的に顧客体験のクオリティをどのように変化させてくれるか」ということが重要だと考えました。そして、無人機は「省力化×クオリティ」、この両方が取れる機械だと思いました。

人を減らすことが目的ではありません。刈込回数が週1回から2回になり、芝の状態も安定してきています。これは費用対効果ではなく、5年、7年先を見据えた投資だと考えています。

また、働く社員の意識変化のために購入を決意した側面もあります。社員それぞれが会社に求めるものは異なり、給与の上昇、長く働きたい、仲間と楽しく過ごしたいなど、様々な理由があります。これらの要望に応えるためには、会社の成長とビジョンの実現が最も大切であり、そのために無人機も導入しました。無人機の導入を通して、会社に機械が導入され仕事が変わり、これから進化、成長、発展していくという未来に向けた希望を感じてもらえることが、経営者にとって最も嬉しいと考えています。



お客様の声2 | コース管理統括部 部長 橋本進様

人手不足の時代でも、フェアウェイの品質は上げられる



無人機を導入した理由のまず1つ目が、その人員不足ですね。やはり今、採用してもなかなかコース課にも入って来てくれないということで、人員不足を補える為というのが、まず1つ目です。

そして、これからコース管理にとって、やはり人手不足というのは出てくるといいます。その中で、「じゃあ効率を上げるために機械を入れましょうか」と言っても、乗る人はいないと思うんですね。

そこで無人機を入れまして、2台で刈る事によって、1日10面から16面ぐらい刈れるんですね。そうすると、今まで5日だったのが3.5日おきに刈れる計算になり、週に1回だったものが週に2回刈れるようになります。

結果として、フェアウェイの品質は本当に上がりました。やはり教えた通り、寸分も狂わずに芝刈りできるので、フェアウェイのラインを見ても本当にメリハリが出て、綺麗に見えるというのが一番入って良かったと思います。これはもう目に見えて、クオリティは各段に上がったなと感じています。



導入先 2 | ベアズパウ ジャパン カントリークラブ

お客様の声3 | 支配人 下村岳生様

コースを楽しく回ってもらうための必要不可欠なツール



導入動機は人手不足という大きな課題がきっかけでした。本来は週2回は刈りたいところでしたが、人員配置や天候の影響、労働環境改善への配慮から、週に1回ぐらいにとどまってました。しかし、無人機なら営業終了後の夜間に一人に対応できます。今まで4人体制でやっていましたが、3人がグリーンやラフなどの作業や管理に集中させることができ、より丁寧に質の高いコース管理が可能になりました。まさに理想としていた体制を実現できています。

私どものコースは、ジャックニクラウス氏が設計しておりまして、大変面白いコースが売りです。また、年次会員様が中心となっておりますので「コースを楽しく回ってもらう」コース管理には十分に注意しています。

導入後には滋賀県で開催された国体の会場となり、全国から集まった選手の皆様にプレーしていただきました。その際、「フェアウェイの状態が素晴らしい」と高い評価をいただき、導入の効果を実感しました。

さらに、週2回の刈り込みが可能になったことで芝カスが細くなり、そのまま天然の肥料として機能するようになりました。その結果、芝の状態が向上し、肥料使用量の削減にもつながっています。これは想定していなかった、大きなメリットの一つです。



お客様の声4 | グリーンキーパー 幸野剛様

クオリティの高いフェアウェイの実現



当コースは粘土層が多く、水はけの悪さが長年の課題でした。特に刈り込み後に芝カスをスーパーで回収する際、車両のタイヤ跡や擦れによって地面が締まり、さらに排水性が悪化するという問題がありました。

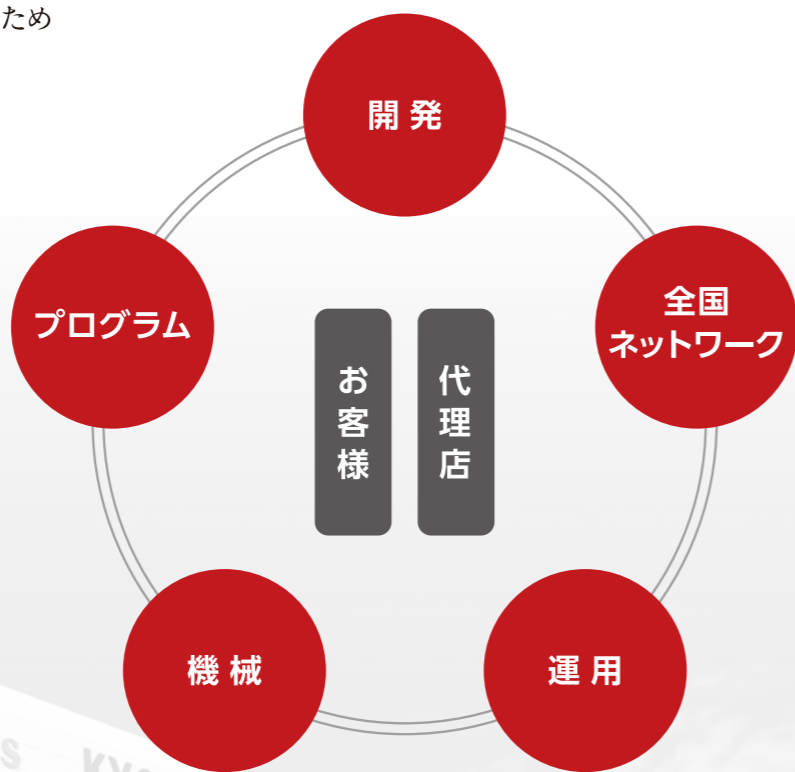
そこで無人芝刈機を導入し、週2回の高頻度な刈り込みを実施。芝を短い状態で維持できるようになったことで、芝カスが細くなり、スーパー作業の回数を大幅に減らすことができました。その結果、芝の芽数が増え、「以前より水はけが良くなった」という声も聞かれるようになってきました。理想としていた、ボールマークやディボットが付きにくい密度の高い芝生にも近づいていると感じています。

導入当初は、人材不足への対応や作業効率向上が主な目的でしたが、コース品質の維持も重要なテーマでした。初めてデモを見た際は、その走行スピードに驚きましたが、実際に導入してみると、刈り品質の高さと安全性に非常に満足しています。今後はラフエリアへの活用も視野に入れ、より効率的なコース管理を進めていきたいと考えています。



メーカーだからできる 安心のサポート

パロネス無人機は、機械（メカ）とプログラム（制御）ともに開発・設計・製造
そしてもちろん品質検査まで自社で完結しており、
販売後の導入サポート、メンテナンスも含め、トータルでサポートします。
また、専門の教育を受けた代理店が全国にあるため
迅速なサポートが可能です。
メンテナンスに必要なパーツも
迅速に供給できる体制を確立しています。



プログラムも機械も含んだ3年メーカー保証

機械とプログラムともにメーカーが3年保証します。保証には専門スタッフによる点検など
無人機納入後のアフターメンテナンスをセットにしたメンテナンスパックを含んでいます。
機械もプログラムも同様に保証されますので、安心して無人機をお使いいただけます。

プログラム
機械ともに
**3年
保証**

※取扱説明書に記載の
消耗品は該当しません。

全国の代理店ネットワーク

全国の代理店とメーカー連携で迅速なサポート体制を確立しているため、どこでも安心して製品をご使用いただけます。
代理店で得られた情報はメーカーへフィードバックされ、製品の改良や開発に活かされる安心のネットワーク体制を整えています。

the **STANDARD**

Next the Standard 次世代のスタンダード

パロネスは、今後、フェアウェイだけでなく、ラフ、バンカー、グリーンと、
あらゆる場所で使用する無人機の開発を進めています。
これは、機械とプログラムの開発・製造を一貫して行うメーカーの強みです。
無人機のラインナップの拡充は労働人口が減少する将来に備え、
最少人数でのコース管理を実現することを可能にします。

コースメンテナンスをすべて無人化に

ゆくゆくは1人の管理者が、複数台の無人機を操作できる時代へシフトしていくことをイメージし、無人機が
ゴルフ場管理機械の次世代のスタンダードになることを目指しています。これにより超省力化・高効率化を
実現する画期的なコース管理が可能となります。



遠隔管理システム” BVMS” でその先の芝管理へ。

無人機をブラウザで遠隔管理するシステム、(BVMS:パロネスビークルモニタリングシステム)を搭載しています。機械の稼働状況をお客様とメーカーとで共有することで、
トラブルやメンテナンスのタイミングなどをいち早く発見することができ、よりスムーズな
サービス対応やメンテナンスのご提案等に役立てることができます。

